

## ロジスティクス環境会議

### 第3回環境パフォーマンス評価手法検討委員会 議事録

・日 時：2004年4月23日（金） 15：00～17：00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館3F 牡丹

・出席者：25名

・議 案：

- 1) 2004年度上半期の活動計画について
- 2) その他

・開 会

定刻、増井委員長により、開会が宣された。

・環境パフォーマンス評価手法検討委員会の活動計画【資料1】

小林副委員長より、資料1に基づき、4月8日（木）に行なわれた第2回本会議にて発表を行い、当委員会の活動計画が承認された旨の報告がなされた。

・ロジスティクスにおける環境活動の現状と今後の展望【資料2】

増井委員長より、今後当委員会メンバーで具体的な議論を行なうにあたって、メンバー間のベクトルを合わせるため、ロジスティクスにおける環境活動の現状と今後の展望について、説明が行われた。

・環境調和型ロジスティクス実態調査（LEMS）の経過報告【資料3-1、3-2】

事務局より、資料3-1、3-2に基づき、環境パフォーマンスの考え方、環境負荷（総量）の定量化、取組効果（削減量）の定量化、環境統合化指標の検討等の説明が行われた。

なお、資料3-2については、検討した委員メンバーにも公表されていないため暫定版のため、くれぐれも外部には公表いただかないよう、取扱いには注意いただきたい旨の依頼がなされた。

・議事の経過

1. 議 事

増井委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 2004年度上半期の活動計画について【資料4-1、4-2】

事務局より、資料4-1に基づき、当委員会メンバーを対象として、環境パフォーマンス算定実態調査を行い、各メンバーにご活用いただけるような報告書作成を主体とした、活動計画案の説明が行われた。また、活動にあたっては、チェック項目（活動）が異なる等の理由から、荷主企業と物流企業を分科会として分けて、具体的な議論を行い、アウトプットを出していきたい旨の説明が行なわれた後、以下のような意見交換が行なわれた。

【主な意見交換の内容】

【委員】国土交通省が排出算定マニュアルを6月に作成するという新聞記事があったが、L E M S等との関連性はあるのか。

【事務局】実態は把握していない。新聞記事の信憑性の問題もあるため、何か情報が入れば、ご報告したい。

【委員】分科会については、環境パフォーマンスを算定している企業、これから算定しようとしている企業に分けても良いのではないか。

【委員】アウトプットにデータ集の作成とあるが、データの収集はこの委員会だけで行なうのか。J I L S会員企業全体も巻き込んでいくべきではないか。

【事務局】まずは当委員会として行なうことが基本になるが、環境会議の中心的な機関である、企画運営委員会の議案とさせていただき、環境会議全メンバーを対象にデータ収集を行なうように働きかけたい。次のステップとして、J I L S会員メンバーも対象にしていくことを検討したい。

以上のような意見交換が行われた後、2004年度活動計画案および分科会構成案が全会一致にて承認がなされた後、増井委員長より、以下のような確認がなされた。

- (1) 2004年度上半期活動計画のとおり、今後の活動を進める。
- (2) 分科会構成は、チェック項目（活動）が異なるため、荷主企業と物流企業に分ける。
- (3) 調査を依頼する際は、回答要領を添付し、ご回答いただき易いようにする。
- (4) 調査票については、定量化の対象外となる項目については、斜線を付ける。
- (5) 調査依頼は、連休前の4月28日（水）にはメールにて各メンバーに配信する。

2) その他

今後のスケジュールについて

第4回委員会は、次のとおり開催することが確認された。

日時：2004年6月11日（金）15：00～17：00

会場：未定（決まり次第、お知らせいたします）

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、増井委員長は閉会を宣した。

以 上